

第15回「文芸思潮」現代詩賞 発表

第一五回「文芸思潮」現代詩賞に多数の御応募をいただきまして、まことにありがとうございました。おかげさまで三七七名という多くの方にご応募いただき、充実したコンテンツとなりました。心から御礼申し上げます。

五月末に集まった応募作の中から、まず選考委員会予選担当によって第一次予選、第二次予選、第三次予選の選考が行なわれました。それらを通過した作品を対象に、十一月十日、松尾真由美、五十嵐勉の各選考委員により、最終選考が行なわれました。厳正な審査の結果、以下の通り決定しましたので、ここに発表させていただきます。

今号には最優秀賞・優秀賞を掲載させていただきますが、奨励賞作品も、次号以降でできるだけ「文芸思潮」誌上に掲載させていただきます。

現代詩賞の授賞式は、残念ながら今年も割愛させていただきます。賞状・賞品・賞金などは明年一月下旬に直接受賞者に発送させていただきます。

第一六回「文芸思潮」現代詩賞は、明年も今年とほぼ同じ要領で募集を行なう予定です。どうぞ奮って御応募ください。お待ちしております。

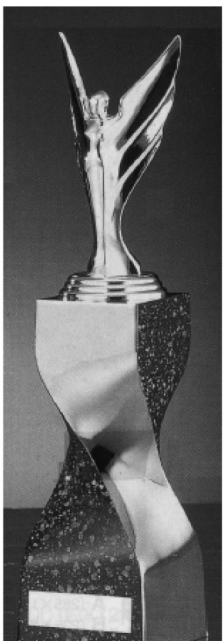
「文芸思潮」現代詩賞選考委員会／文芸思潮

最優秀賞

「聖遷」「わたしさえいなくなれば」

「AO」

佐藤孝博（千葉県浦安市）



優秀賞

「ゼブラゾーンより右折をはじめる」

「anata」「僕らの二十一世紀」

木田昨年（福岡県久留米市）

「きみはすでに」「無題帝国より」

青木聡汰（神奈川県横浜市）



奨励賞

「暝」「霧子」「手記」

今井 悠（宮城県仙台市）

「裸足の醜女」「夜の沈殿物」「朱炎の神」

淡谷十森（神奈川県横浜市）

「明滅」「わたくしという湿り気は」「触角」

秋山聡子（東京都目黒区）

「満天星つつじ」「子返し絵馬」「不在証明」

遠藤芳子（東京都狛江市）

「第八世界自己構築・崩壊論」抄」「灰燼」「引馬」

燻人（埼玉県川口市）

「春の受肉」「白昼夢」「散華」

隅田聖美（大阪府大阪市）

「あくりる あんぐる」「おぶじえ」「ただいま」

中村郁恵（北海道札幌市）

「台所」「修行」「喰」

麻生ゆり（福岡県北九州市）

「recordare」「狼歩む風の小路」「Flourishi」

浅見龍之介（埼玉県草加市）

「嗚咽」

十路田道広（福岡県福岡市）

「縄文の女神」「西ノ前遺跡」「合掌土偶」「風張遺跡」

清水一美（東京都立川市）

「蒼穹に染まる若葉」「遊女の手毬唄」「夢追いびと協奏曲」

渡邊章夫（愛知県豊橋市）

佳作

- 「パティック幻想」「黒猫」「ミモザの葉」田中淑恵
 「最後の駅(帰帰)」北原 満
 「二月」「一月」「むね肉」橋いずみ
 「告状刻下」「追憶」「北の徒然なる」小山田良三
 「青春のスパーク」「雛の頃」「光のフーガ」嬉代子
 「夕暮れの空」「とりかえしのつかないもの」
 「どうして死を選ばないのか」佐藤 裕
 「本と少女」森 侘介
 「雨」「星の灯り」「砂の天」宇川榛太
 「勲章」いしぜきけいこ
 「砂漠」スミカゼイツカ
 「光にむかう睫毛」貝類
 「BORDELINÉ」「カラフル。」「裸—NUDE—」田口千尋
 「哀色の炎」「闘病」「セミダブルの棺」そらこつむぎ
 「残響」「エピグラフ」藤わかな
 「超躍」「誠実」「花」かるましり
 「五年生存率」「廃屋」「庶子」田村全子
 「寂光の園」添美
 「エデンの端っこへ」「プロペラの折れた地球」「天国はもう、すぐそこ」Keisei
 「暗室」「戦場の汽車」大越宏志
 「瞬」津田悠宇
 「焼け野原」七羽鳩子
 「黒い窓」あおい満月
 「赤い百合の花守」「さいごの求愛」若名有希
 「時代の音 大正」「九死に一生を得た」「運命の星に見放されて」西條由美子
 「葬送の季節」「最涯ての人」「私は、きりんになって」千葉真理絵
 「享楽」「独立者」「水面」虚空蔵詩門
 「わたしの風船」絹本ゆい子
 「帰郷」「誰の部屋にも虫はいる」「崩壊する佐々木恵子ちゃん」井上政樹
 「もつれた糸くず」「しんしん雪の舞う夜に—父への鎮魂歌—」「境界」すぎむらみずほ
 「吠える(又はマシンガンを撃ちまくる)」「どうしようもない恋の唄」阿江栄章
 「罵詈雑言」高倉麻耶
 「最後の土壇場で」「焼け跡のマリア」河合夏帆
 「涙」「岬に暮らして」天ヶ谷麗
 「タルトの舟」加勢健一
 「まぼろし」「フフホト」
 「やわらかいおり」「PIP!粘膜」「希望の河」「渡辺八景」
 「揺らぎ」「ペイザージュ」「ムーンダスト」月海水雲
 「透明な波」「バッテリーボックス」「山の駅」柏原 宥
 「螺旋」「黎明」インバ
 「満天の星空の下で」深雪 朔

入選

- 「赫い人よ」石原佑弥
 「種の詩」「ドッペルゲンガー」「映画観」元澤一樹
 「遠い記憶」「独りじゃない」「橋」桐木平十詩子
 「二十歳だった頃のノート」「三十歳だった頃のノート」
 「四十歳だった頃のノート」絹本鯛地
 「曇り空」「潮流」「春色の風」名もなきサラリーマン
 「柱状節理/マントゥナン」鈴木 修
 「口頭発表」「零下五度」「収束」小径 章
 「みそぎ」「劇場」「乳呑児」野宮有姫
 「終末沼」「冬と眩暈」「香水の日々」田中知織
 「手紙」「ひとの糸」後藤 順
 「願い」田中浩司
 「ここにいること」「雪解けの風」「道標」小篠真琴
 「王子の夢の中」「死というものは」千葉チェンヅウ
 「寝返り」「知らね」「瞳の淵で咲く桜」いでみどり
 「金色の夢」「まるせいゆ」潮江しおり
 「夜」「空」晨道珠暉
 「花の巖」「ドライフラワー」上木戸晃
 「遠吠え」「獣かく語りき」「お献立はお決まりですか」有明灯
 「削る」「サハラにて」「祝祭都市」松本邦夫
 「魔王よ」「わが宿命」「そなたに送るバラッド」原 氷
 「震える時の中で」「緋色のナイフ」「君と僕の距離」辻本 瞬
 「向春狼」「紅玉」「誘惑」南斗るい
 「テトラポッドにて」「はつこい」「或いは現実界へと通ずる」ワタメビケ
 「酸素と映画予告」岸間さひろ
 「買い物リスト」「恐怖の誕生」「タイムラプス」あさとよしや
 「夜の学校」「イグアスの滝」「鱈」井村たづ子
 「箱庭」「龍宮建設記」「魚類」よしおかさくら
 「享年38歳 7月」「Shi」「火と土」新村たどえ
 「塔」「影」「かさぶた」遊月飛鳥
 「嘘塗り」「中身は真っ赤」今木紗江
 「屈辱」「あなた」「夢」東風佳子
 「矢車草」「宙を飛ぶ」池山弘徳
 「朝の仏間」奥山美代子
 「一一五頁」「熟—つらつら」「狂花」本多智秋
 「花」木村香奈子
 「朝焼けを眺める」「放浪」石川 新
 「よきこと」「なべのうら」「感謝感激雨霰」いまだまりこ
 「立てよ芍薬」タダノヒト
 「発端」「仕舞い」「終焉」河合麻衣
 「鴻雁挽歌—水鳥と二胡と伯父—」白石小瓶
 「西暦102019年」徳田吉映
 「雨音にうたう」由良 佳
 「消費」「乳」「デイズ・ダンス」荒木田慧
 「熱帯」「熱帯さながら」「不自然な羅列」林 永子